

特別  
79  
3914  
2



79  
3917  
巻

此本者

寛政九丑 晩夏

洛陽書目林

叙之

大福寛帳  
卓林  
書目出帳



楊枝曲

一ふさやうじれさきの中へ不そき針れをさ  
しこんで並びやじのさがり此方を今一本のやじ乃  
少さへう込。あきののりれ先をよの平或ハ括のさき  
のうすはへすくいさうへハやくやじならり。ひ。  
その時々のよれ麻。よて楊枝をかみの毛よて繫  
ぎうるやうにうひト。たのよれ糸よてやじらうく  
ようごまき。











よて燃もをぐくふとと益えき中ちゆう此こをと吸すひこ

あれ中ちゆうの火ひを燃もらす

一いちちやうのふと松しょうやににてまるめまるめををす。むくじ  
のたさのどろどろ。ききをとな紙かみの中ちゆうののくくををめ  
く。あ中に火ひを燃もす。んたへへとく。それそれごと改かへ  
め足あしせせびうその中ちゆうへへ入いる火ひを燃もす。あよ入いるなり。  
維きよても紙かみをを燃もす。きき滑なめくくををくくげぬす  
あれ玉たまを維きり紙かみののかかてて包つ火ひを燃もす。べべ吹ふけけて足  
くくげぬし。よても志しここれれげげるるなり。

の燃もす蠟燭ろうそくの火ひを吹ふけけててすぐすぐに燃もらす

一いちちよきつけなな。ととななののおおとと。これこれ不ふど  
よ切きららととひひてて燃もすす。ききをを指さよよみみ拍ひ火ひ  
と吹ふけけててそそままくくひひららううよよててつつけけるるなり。

小こ刀たわよよてて天あま此こををととるる

一いち紙かみよよああとと一いちつつててああれれ取とりりににここみみをを扱あててののああをを  
そそりりててんんたたへへとと。小こ刀たわををそそりり切きららととつつままここててああののああ  
ののひひぢぢあありりへへ小こ刀たわれれ切きららととつつけけるる。ひひ時とき小こ刀たわととひひぢぢ  
あありりととにに親おととつつけけをを扱あててににここみみををととるる紙かみをを取とりり







とらぐみよあをけりて捨と取ハする

一あつき白き紙よ。的焚のよきをありてと死  
て是よて書て。うまか。一並紙よありの入る  
よへ並ぬれば。文字よても捨よても白く取らじ。

とら紙と火よてあづり文字取るる

一とらぐこよ酒よて文字よても書てとま  
人の手人よて書てんせる時を帛よ拵よて  
書まねとて火よてあづらなり。文字取るる  
とらぐこよ酒よとぬりて文字を出れる

一ゆざんとおとぐろとよて書くうまうせを  
のうらありすとひくたなり。

とらみと玉子よする

一玉子よすと。元とあけく。紙と入り。紙と  
紙と入るとき。ゆら玉子れうとあづたきま  
りトあとのうすうこのころなり。是と紙内  
まうら。紙。紙と玉子。とてんたべとて  
丸めとよ入。どりう。うの玉子の元の時  
ふきけくたくれらなり



あはれとよ文字をすゆるり  
 一ただこのあんとあつよつけをそのあよてをす  
 りて紙よ書。きををあよつけ。針よて紙よつぎ  
 しづめぬれば。紙がしづめ文字のあはれとよのこらし  
 け文字と紙よつぎとあつよつけられはなる文字よ  
 てつくなあり。

箆れ糸を流歎よするり

一ふいぎ竹の首よごしもうと二三足よみて入を。きをた  
 りとよたくしを。ね砂砂よあはれ入るるとりよせ

中は箆のえのおつまをさしねとまき。きとごどやう  
 よとえんすべしとく。ぶらりきとをいへとい。今  
 一なあつたむべしとく。あつまきとをね入して。  
 ちりれあつ。ねへむけくうけく。さちちりの中  
 とんせ。えの人は砂砂の中とんる時。あつまきの下  
 ちりちりのあよてたけしな竹の筒とあ。ぶらき  
 の下ちりよよらど。あつ。あつ。きとびらううか。あつ  
 よすぐよと砂のこへをい中へごらわうとをい。  
 箆のえと筒の中へとこみ。ねあつ。きとね



くして。先の人さくら中を足る時肯とたりと  
へるなり。みりしれきにするも何ドクなり。

紙を解く六粟饅頭にする。

一粟よてもまんちうよてもトス〜とくらぬき。う  
とらにして。紙の下つ〜はやくお。紙を丸くめ。  
のこさぬき。ちうとら中へりこむなり。

砂紙にちうとら入味。紙とあす。

一紙を丸めく。ちうとらに。お。ちうとら入る  
さくらちうとら入る。ちうとら。〜とら。ちうとら。

ちうとらの中。ちうとら。ちうとら。ちうとら。ちうとら。

ちうとら紙に。ちうとら。ちうとら。ちうとら。

一大豆とちうとらつけて。ちうとら。ちうとら。ちうとら。

すり。布きれよ包て。ちうとら。ちうとら。ちうとら。

よて。紙よちうとら。ちうとら。ちうとら。ちうとら。

ちうとら。ちうとら。ちうとら。ちうとら。ちうとら。

ちうとら。ちうとら。ちうとら。ちうとら。ちうとら。

ちうとら。ちうとら。ちうとら。ちうとら。ちうとら。

ちうとら。ちうとら。ちうとら。ちうとら。ちうとら。





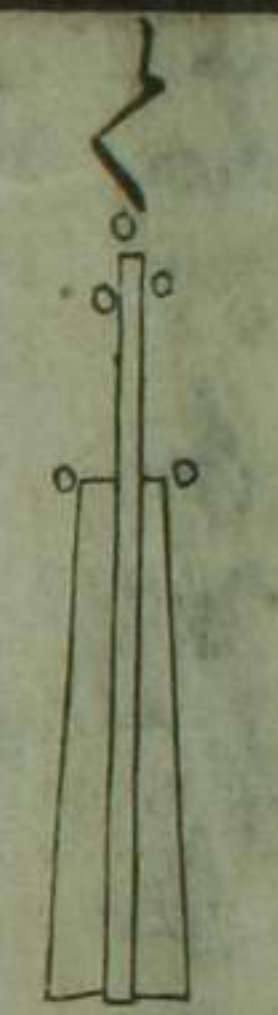






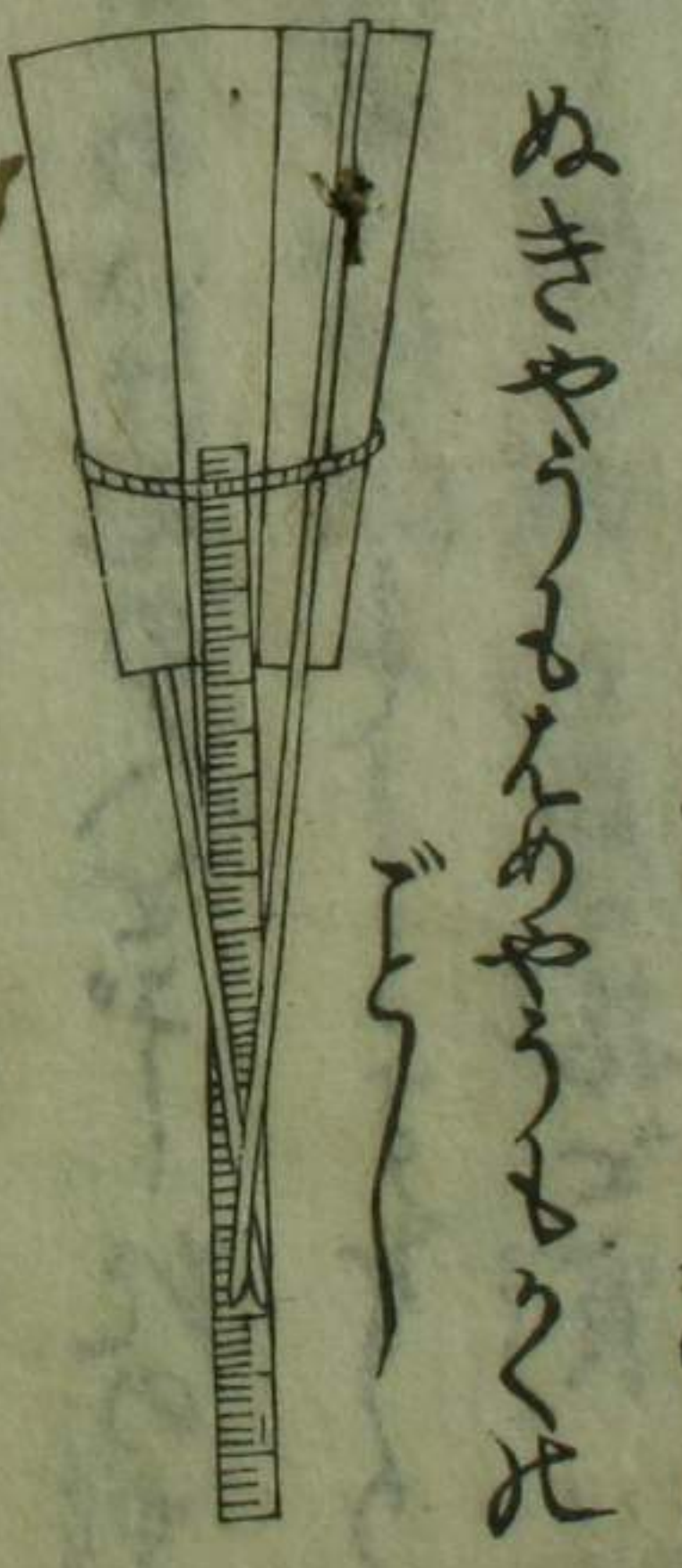
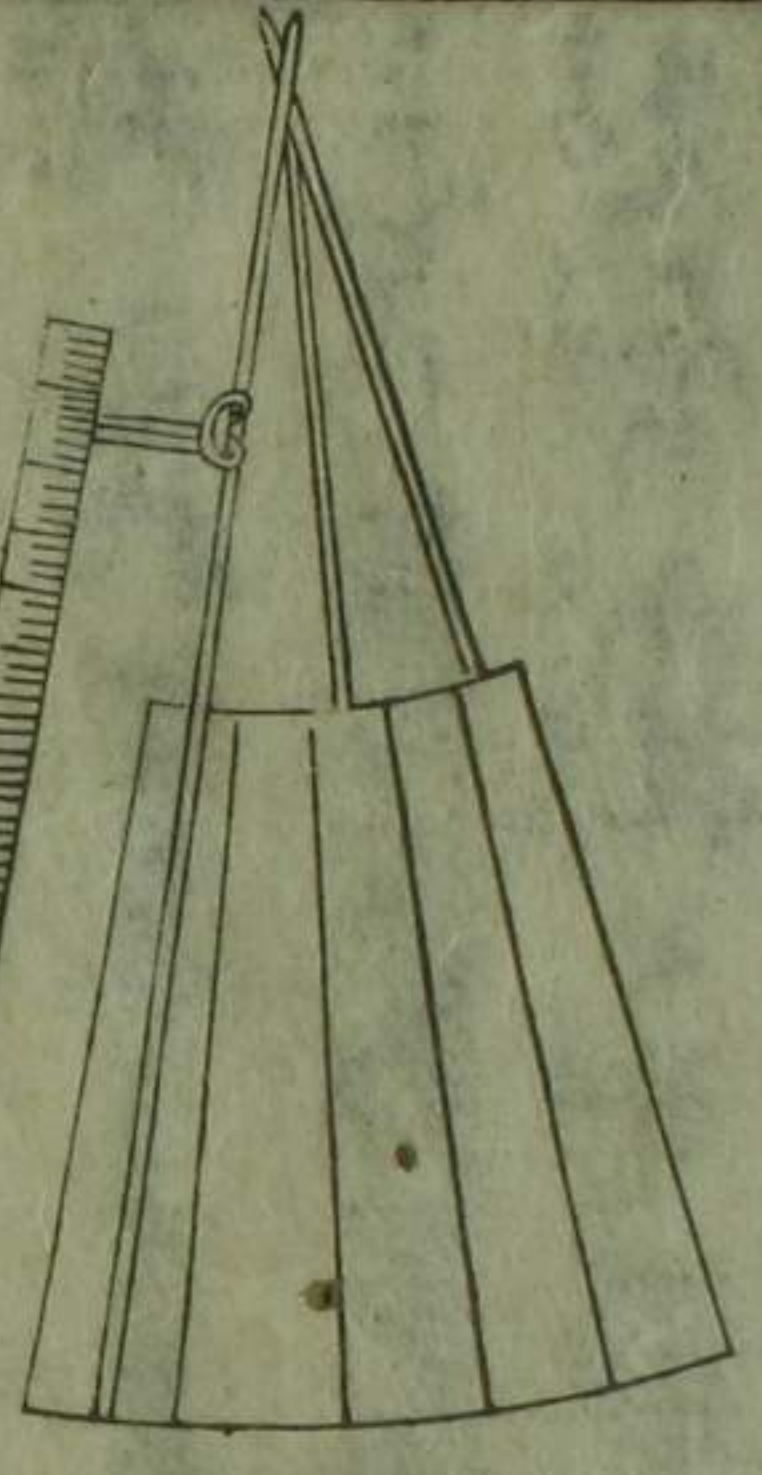
茶碗の作り

一筋のどや膏の先に并のたれとうへに並置して  
ていろくの面作でまのなり。筋とこの中に立



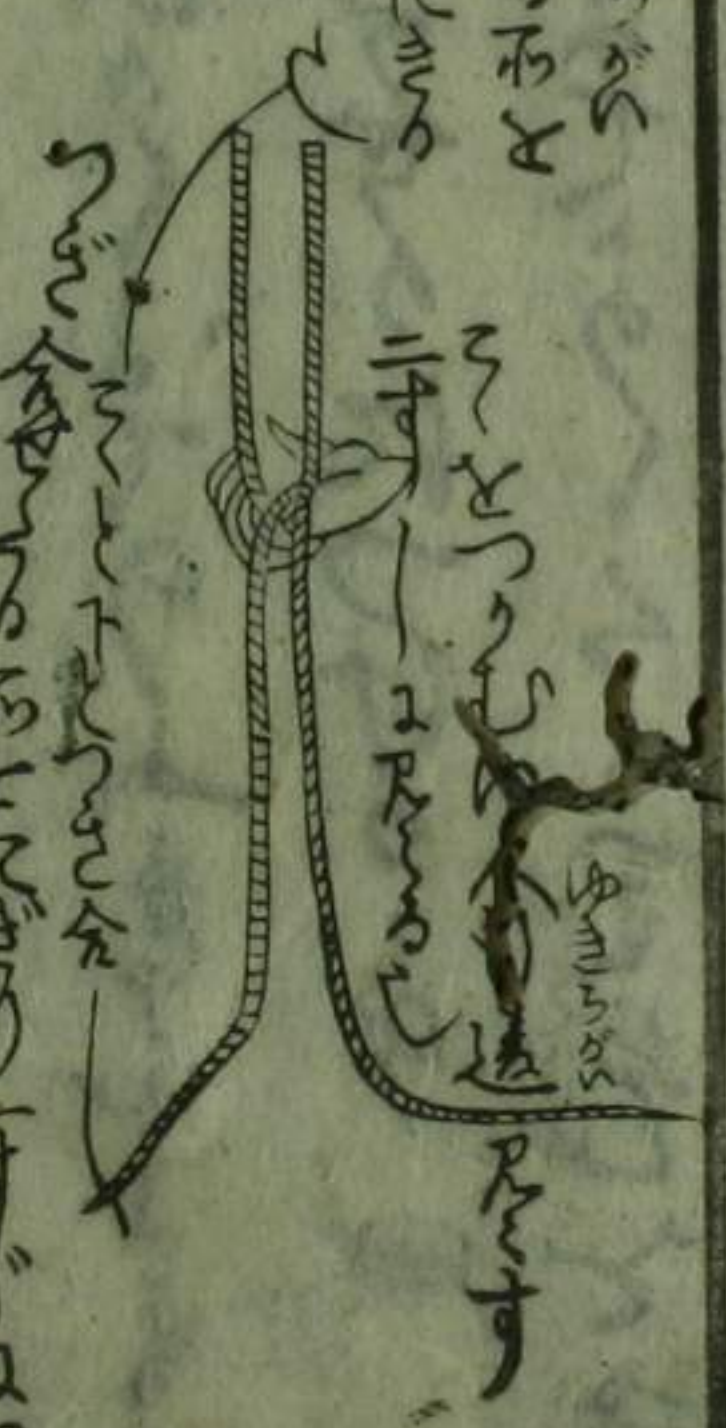
拵よてはうごの尻の面をたて入る

こげぬよどいのなりなり。徳ふともの池よかく拵  
さうごう〜しり〜は〜しり〜すもえのなりなり。

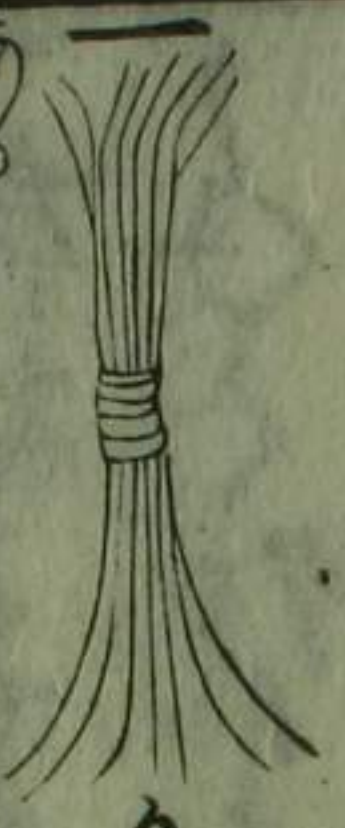


ぬきやうよんめちうもくれ

潤



ついでとすうごを  
かへにきりすうごのてんせ



天然と一つはきよかたなりなり。

茶碗よあをいませるよて物なるり。

あけくらうよらうらんひと茶碗たりの



ふらほうけ。煙宇を茶碗の木のふらほうけと  
まためあくる



茶碗とたりのつけのり

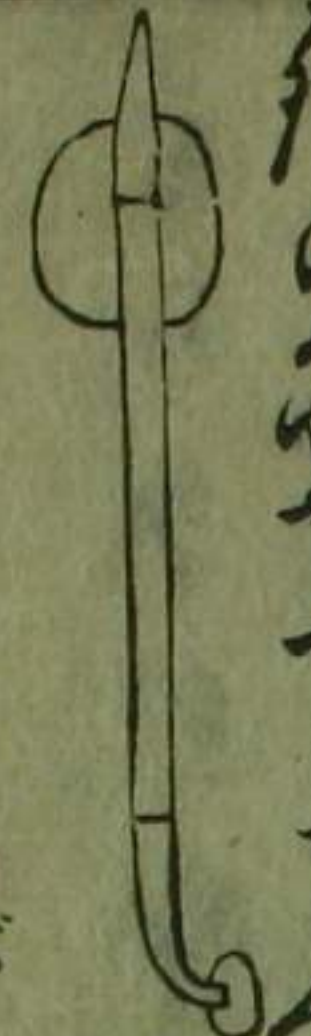
一楊枝よても茶碗のふらほうけと  
ふくたのり金goldを茶碗のふらほうけと  
あくるなり。びくはてのふきんよもつくなり

土器terracottaとまきろにひけるり

一錢二文と茶碗よてのり金goldを茶碗のふらほうけと

六

れ方へき。び残めぬれあへ土器terracottaとら。をよへみうと  
がらうけとのせ。あがらとさう。火fireを焼すなり。すこ  
しと残leftハんぬりのなり。さう。さまたのりよて  
残leftのあつうすん。んぬやうは残leftをぬくなり。



け茶のどく平flatこよつけやう。土器terracotta

れううよめ。粒grainよてちへさ紙paperをつけとき。吸draw口と  
あらめ。まトへさ。こむなり。あ方へ二枚つけり。  
不notそき紙paperと二ツよとりの茶tea中middleは吸draw口mouthれをらるかどの  
穴holeとあけく。のうらにう。ち内innerより一つ

六



のつぎつらうきけとびあふれ紙へ三枚付りく。

残と草うよてうり。ば草と火は焼くちまねぬ。

一不をき草紙はよてぬじ。よく塩をぬり。ばよて

残と一みくり。焼し火よてやくなり。草う火よぬて

もちぎれぬりきめうなり。

豆腐よ盆とうよはしてひつう延。ニツよまきれち

一盆の上よ毛き髪は毛と一す。盆をよへ豆腐

とき丁のせ。そよ又盆と一枚うよよしてばあ

とらり。なよ髪女のけり。うと盆のちらり

おそくであらればあけさまは豆腐二のよまされる

なり。又きれといふ。あよますり盆のうらうらう

のけとくちちちおまよはして。ひつうう長。盆ととり

しなよ盆のちちへうこれ毛とちちあければ。又二

のニなりなり。人よ大よやんぐらうなり。うらうてうの

火とあれ中へ入きえぬる

桶よあよ入密。扱茶碗のうられそこへ火をぬ

つぶよてらりつけ密。うらむけよあ人そとまで

すつと入。すつと入らり。火消すにるものなり。



えを紙よて人形と作り踊らする

一かしあつき紙よて人形と切り是へ紙と二みか粒  
よてつけ。扇よて拍子をとるとどろろすハ。長き髪  
けと扇にえさみ。そらみれけ乃先とむすび。ひ

猪ひめと人形の股へ引つけとき。拍子とればひやう  
しよ志こころうごきとどろりい。

揚技とくまごり玉子とのせ。とッきうりる

一玉子三たぐりこりにふき丸とおけ。吸くかたし。その丸  
ところろと。きさうやられ。油よてつけろたり

えをぐこを引さき。先不どよ丸めて。ま  
れゆは。持人のもれたけ。指と人。指の上  
へ。きねり。じ。ひねるすべし。二ッにねが  
ゆりなり。きめうなり。

徳のころやまのり

一徳よあし。榎の本なり。榎の本を悪やまはし  
く酒の中へ入れ。げ。きさうごき。さうごき。さうごき。

紙とぬくろ

一紙さし。すじ。家よ改。めさせ。家に紙



とつをよるをく。二人よはさくしれをく。とをせせ  
 並ぬくなり。ぬきやうハかよりれ残と一多ふのうら  
 よかろし指くぬきよかろし。つみぎしうり残と  
 のうらちよてよりより。すり久の残とあすこ。

天明七辛丑歳末板

天明元辛丑歳末板

寛政七乙卯年再刻

東京町根京上西側山より  
 菱屋治兵衛板

福壽軒藏板目録

京都寺町通松原上西側山より  
 菱屋治兵衛板

八雲降抄 七冊	順徳院御製續方音相多合 守會法蓮多那塔抄多物 名枝堂言語名所用多	女訓都錦 一冊	口小巻終○中用文章 百人一首女子重法と
和歌道多々 一冊	榮雅作後方四季の歌多 所抄と多しゆ多しゆ多しゆ と歌とと委多しゆ多しゆ 管雄作前書に包 れし事と多しゆ多しゆ	萬葉百人和歌海 一冊	口小巻終○中用文章 百人一首女子重法と
同増補 四冊	管雄作前書に包 れし事と多しゆ多しゆ	文林百人天和鑑 一冊	口小巻終○中用文章 百人一首女子重法と
大和詞大成 一冊	おろし多しゆ多しゆ多しゆ 小本	女用紅葉錦 一冊	口小巻終○中用文章 百人一首女子重法と
同折本 一冊	たごうとごんのまろり	女今川教み 一冊	口小巻終○中用文章 百人一首女子重法と
絶書筆の林 一冊	宴み多しゆ多しゆ多しゆ くゆりて多しゆ多しゆ多しゆ	女訓蒙圖果 五冊	口小巻終○中用文章 百人一首女子重法と
同新多修技 一冊	たごうとごんのまろり	女家訓 一冊	口小巻終○中用文章 百人一首女子重法と
吾妻雛形 三冊	あつめと多しゆ多しゆ多しゆ あつめと多しゆ多しゆ多しゆ		口小巻終○中用文章 百人一首女子重法と



繪本大佛樓 三冊

下河邊画

同古今武者車 八冊

同勇者車 十冊

新撰紙鑑 一冊

小本

牛馬問 四冊

心学五倫書 一冊

順禮手引獨案内 一冊

同改道車 一冊

将基手引草 二冊

古朝朝せんせの軍事  
と妻ふふの面白くさ

むのりり古大将勇名  
佐く武名とあつり

古今の勇士姓名年表  
原平と分故事号 委注と附  
張と撰法人のあつり

法書よりすき女子紙其  
呂に分て四紙呂小印小委記

私漢奇説ひらり  
ゆてもりりりりりりりり

すて人回倫のこま  
あつりりりりりりりりり

ひさの西のりりりりりりりり  
る事あつりりりりりりりり

そのま順礼儀中とて益  
るのりりりりりりりりり

物心師匠のりりりりりりりり  
りりりりりりりりりりりり

翰墨用文章細目 一冊

倭文通綿字箋 一冊

筆家用文章 一冊

萬用字盡教鑑 一冊

寺子調法記 一冊

童訓性来新大成 一冊

書翰初学抄 一冊

庭訓性来 一冊

古状揃 一冊

文章の世にふるとふり  
先く書す上中下と分て  
文章の中日用生活あつり

日用の中用文章取す  
花其外生活多々のあつり

け文章のあつりりりりりりり  
其用と違つりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

庭訓性来新大成のりりりりり  
外童子重は事あつりりりり

用文章のあつりりりりりりり  
改之小記すりりりりりりり

け庭訓の改之小記あつりりり  
りりりりりりりりりりりり

け古状揃のりりりりりりりり  
ち子のりりりりりりりりり

七寶小誦手箱 一冊

萬賢小誦大成 一冊

増補塵功記 一冊

萬代塵功記 一冊

新篇塵功記 一冊

改等塵功記 一冊

改集記大成 一冊

改美智惠寶珠 一冊

性生要集 三冊

萬流規世書白ゆて改  
小童の書法多あつり

當流百番とて寺の  
改之日用書法品あつり

物心けのりりりりりりりり  
中あつりりりりりりりり

徳書あつりりりりりりりり  
樹一通のりりりりりりりり

そのまのりりりりりりりり  
日くまのりりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

大豊節用福壽海 一冊

字林節用五嶽篇 一冊

一筆萬象 二冊

易術手引草 一冊

八卦諺解 一冊

同秘密箱 一冊

八卦拾遺抄 一冊

元三大師洋圖 一冊

同諸抄 二冊

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり

け文章のあつりりりりりりり  
け文章のあつりりりりりりり







橋

藤

壽

如

橋  
藤  
壽